

環境パフォーマンス実績／補足事項

■ 報告範囲

- 原則としてポートフォリオ全体を対象とします。

■ 集計期間

- 集計期間は各 4 月～3 月とし、原則として年次で実績を更新します。

■ 算出方法・排出係数について

- 原単位は（電気や CO2 等の総量）÷（持分換算床面積（㎡）×入居率（年平均）（%））として計算します。
- 計算における「持分換算床面積」は、以下の前提条件を基に算出した面積を使用します。
 - ・住宅部分は当該物件の延床面積から除外する。
 - ・原則として持分換算での床面積を報告範囲とする。
- 燃料の標準発熱量やエネルギー源ごとの GHG 排出係数については、環境省・経済産業省の「エネルギー源別標準発熱量及び炭素排出係数」「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」に基づいています。

※標準発熱量については[こちら](#)を、GHG 排出係数については[こちら](#)をご覧ください

■ 補足データ（水）について

- JRE で再利用（リユース）した水の量は以下の通りです。
 - 2019 年度：129,732 m³（水使用量全体の 12.77%）
 - 2020 年度：88,124 m³（水使用量全体の 11.85%）
 - 2021 年度：95,327 m³（水使用量全体の 12.86%）
 - 2022 年度：105,849 m³（水使用量全体の 13.30%）
- 再利用した水の割合は「再利用した水の量／水使用量(上水 + 再利用した水の量)」にて算出しています。
- JRE の保有物件での水消費はすべて公営水道から供給されたものです。

(参考) 算出方法等の詳細

項目		使用データ	計算方法
CO2排出量	総量	電気・燃料・熱消費量をCO2換算したデータ	CO2排出量 (t-CO2)
	原単位		CO2排出量 (t-CO2) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
燃料使用量	総量	都市ガス・A重油・軽油・灯油	左記データをMWhに換算し、記載
	原単位		燃料使用量 (MWh) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%)) 原単位分母は燃料未使用の物件も含む全物件の合計
その他熱消費量	総量	地域冷暖房 (DHC)	左記データをMWhに換算し、記載 原単位分母はDHC未使用の物件も含む全物件の合計
	原単位		DHC使用量 (MWh) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
電気使用量	総量	電気	電気使用量 (MWh)
	原単位		電気使用量 (MWh) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
再生可能エネルギー由来の電力比率	比率	電気	(再生可能エネルギー電力購入量 (MWh) + 再生可能エネルギー発電量 (自家発電・消費) (MWh) + 再生可能エネルギー証書購入量 (MWh)) ÷ 電気使用量 (MWh)
水使用量	総量	上水	上水使用量 (㎡)
	原単位		上水使用量 (㎡) ÷ (持分換算床面積 (㎡) × 入居率 (年平均) (%))
廃棄物	廃棄物総量 有害廃棄物 無害廃棄物 リサイクル量 リサイクル率 最終処分量		廃棄物処理法 (廃掃法) に基づいて集計 ・廃棄物総量 = 無害廃棄物 (産業廃棄物・一般廃棄物) および有害廃棄物のマニフェスト等記載数値の集計 ・リサイクル量 = マニフェスト記載のリサイクル量または契約書に定められた資源化率に基づいて集計 ・リサイクル率 = リサイクル量 / 廃棄物総量 ・最終処分量 = マニフェスト記載の最終処分量

※ 共有物件：建物全体での消費量データに持分割合を乗じた値を報告しています。

区分所有物件：直接測定した、区分所有部分 (賃貸可能面積) についての消費量データ、および実測した建物の共用部全体または一部の消費量データを基に、JREの共用部持分に相当する値に推計した消費量データを報告しています。(注)

区分所有部分の消費量データを直接測定できない場合は、建物全体の消費量データに持分を乗じた値を報告しています。

(注) 恵比寿ネオナート、NHK広島センタービル、リットシティ、TIXTOWER UENO、AER、クイーンズタワーA